

海彼の夢【78回生】

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

寒い冬もようやく終わりを告げ、春が近づいてきました。桜の淡い色合いが、春の訪れを知らせてくれます。私たちの目を引くのは表に現れた花の色ですが、実はその色素は花にのみ含まれているわけではありません。

みなさんは桜色を取り出す『桜染め』という草木染めをご存じでしょうか？桜が持つ赤いアントシアニン系色素は、花卉だけではなく、樹皮や木部などにも含まれています。布を桜色に染め上げるためには、花卉ではなく、枝や樹皮から色を取り出し、アルミ媒染の手法を用いるそうです。花の咲く前の枝を使用するときれいなピンクに染まると言われています。幹や枝、桜の木全体に貯えられた力が、結果として美しく桜の花を色づかせているのです。

さて、この1年間を振り返ってみると、部活動や学校行事に大変忙しい毎日を送ったことと思います。日々の生活に追われて、入学した時の気持ちをつい忘れてはいませんか。みなさんは神戸高校での生活で、花を咲かせるための力をしっかりと幹に貯えなければなりません。以下、皆さんの先輩から寄せられた合格体験記を紹介します。結果のみに目が行きがちですが、そこに至るまでどのように力を貯えればよいのか、今後の取り組みの参考にしてください。

■【神戸大学 理学部 惑星学科】75回生

私は一年生の頃からここを第一志望にしていました。当時は惑星という名前だけでなく決めていましたが、詳しく調べていくにつれておもしろそうと思うようになりました。生物選択だったので、物理の世界に飛び込む不安と生物が好きだという思いから生物学科と迷いましたが、星が好きだということと宇宙っておもしろそうという気持ちだけでここまできました。物理にだいぶ苦戦していますが嫌いではないので後悔はしていません。将来の夢のため、やりたい研究のため、魅力的な教授がいるから、という理由で志望校を決める人が多いと思いますが、私のように興味だけで決めるというのもありだと思います。

受験勉強中にモチベーションを保てなくなることがあると思います。そういうとき私はとりあえず受験が終わった後の楽しみなことや、今までの学校生活で楽しかったことを考えていました。例えば、受験後の春休みに計画している卒業旅行で行くところをグーグルマップで見てみたりだとか、部活で撮った写真を見返したりなどです。部活が8月中旬で引退だったので、他の部活の子より夏休みの勉強のスタートが遅れてしまいましたが、部活で楽しかったことを思い返すと「またみんなで遊べるように今は頑張ろう」と思えました。楽しかった思い出は受験勉強中の力になってくれるので、ぜひ今の学校生活を楽しんでほしいです。

具体的なこととしては、勉強時間を計ることをおすすめしたいです。勉強時間といっても机に向かった時間ではなく、頭を働かせた実質の勉強時間です。私はよくある勉強用のタイマーを勉強を始めるときにスタートさせ、トイレに行くときや机で仮眠をとるとき、ちょっとボーっとしているときにはタイマーをストップさせて一日の実質の勉強時間を計り、スケジュール帳に記録していました。これによって塾や学校の自習室、図書館にいた時間と実質の勉強時間とのギャップを知ることができたり、「昨日あんまりできなかったから今日頑張ろう」とモチベーションアップにつながったりと思います。また、これを

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『海彼の夢【78回生】』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

続けていると、なんとなくやる気の出ないときにとりあえずタイマーをスタートさせたら、やらなきゃという気持ちになって勉強を始めることができます。

最後に、受験生の間は程度の差はあれど、誰もが情緒不安定になります。「大丈夫かな、ちゃんと発揮できるかな、落ちたらどうしよう」と不安になるのはもちろんのこと、心の中では「多分大丈夫、今までたくさん頑張ってきた」と思っているのに、勝手に体が緊張し、心臓がはやくなって、その音がうるさくて最初5分くらい英文が読めなかったりします。これは私の二次試験のときの実体験です。また、共通テストの前日の夜と一日目の行きタクシーの中で、心の中では「大丈夫、やれることは全部やった」と思っていたのですが涙が止まらず、目が腫れたまま共通テストを受けました。こんな感じで本番中の不安要素が出てきても、決して自分だけではありません。強い心を持つとうとしなくていいので、学校や塾と一緒に過ごしてきた友達も再チャレンジしている先輩も、自分とまったく同じ状況で頑張っていて、自分はひとりではないことを忘れないでください。最後まで読んでいただきありがとうございます。皆さんの受験をこころから応援しています。

■【神戸大学 医学部 医学科】76回生

まず私が受験生にとって最も大切だと思うことは「分析力・計画性・実行力」です。自分の弱点からすべきことを分析し、節目節目の短期目標に向けて計画を立て、それをきちんと実行しきる。これは、単純なようで難しく最も大切なことなのです。

例えば私の場合は、高三の一学期が世話係や応援団長の仕事で忙しかったので、その時期は思い切ってタスクを減らしていました。そうすることで勉強に充てられる時間が増えたときにより危機感を持って取り組むことができたと思います。また、ただ問題を解いて解法を覚えるのではなく、必ず間違えた原因や苦手ポイントを分析しました。そして、直近の模試などに対する目標を立て、それに向けてすべきことをざっくり決めたのち、問題集などのタスクを具体的に考えました。その後はそれをひたすら根性でこなすのみです。現役生は浪人生よりも与えられた時間が短いことを肝に銘じ、計画に沿った目の前の勉強から効率よく最大限のことを吸収することが重要だと思います。

そして私が一番伝えたいことは「絶対に曲げない意志を持ってほしい」ということです。正直なところ、大学受験は本当にしんどいです。受験生には、高校受験をはるかに上回るプレッシャー、緊張感が押し寄せます。その厳しい状況の中で最後まで自分を支えてくれるのは、家族であり、仲間であり、先生であり、自分の強い意志です。それは必ず「〇〇大学に行きたい」や「〇〇学部に行きたい」でなければならないということはありません。ただ、「こんな感じの職業に就きたい」といった漠然としたものでもいいのです。

どんな些細なことでもいいので、誰に何と言われても譲れない思いを持ち続けてください。その気持ちがあれば、たとえ模試の成績が悪くても、共通テストの結果が悪くても、最後まで全力を出して勉強に取り組めると思うからです。後悔がないように全力で頑張ってください！

○ 令和5年度キャリアアップセミナー(卒業生を囲んで)を開催します。

日 時： 3月21日(木) 13:30～16:00

場 所： 会議室A

申 込： 締め切りの期日は過ぎますが、まだ若干席が空いています。

興味のある人はぜひ、19日(火)午前中までに申込書を職員室東側にある提出箱に投函してください。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>
『海彼の夢【78回生】』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

■【東京大学 理科I類】76回生

学校行事はメリハリをつけることを意識していました。しかし、メリハリは行事だけでなく部活でも言えるコトだと僕個人は考えています。自分が納得が行くまでやり切って勉強に集中するべきだと強く主張したいです。僕自身目標としていたインターハイ出場は出来なかったけど、頑張ったなと思える部分はあったので、潔く引退することができました。

僕は推薦で合格しているので推薦の事を話すと、主に出願の為の書類を書き始めたのは高三の夏前です。後輩にアドバイスをするとすれば、推薦で受験したいと思ったら早くから先生に相談して早くから書類を書き始める事が大切です。僕の場合、夏前は部活で一生懸命だったし、8月にあった研究発表会のための研究やその準備に追われていたので、正直その当時は出願書類は先延ばししたかったのですが、合格した今では夏前からやり始めていて本当に良かったと思っています。

理由は多々ありますが、一番は推薦にも傾向と対策はあるので調べる時間があるからです。推薦となると特にその大学を知り尽くすくらい調べる事で、書類が書きやすくなるだけでなく、モチベーションが上がり、推薦という制度にも憧れを持つでしょう。

参考までに僕の勉強の仕方ですが、眠たくなるのは嫌だったので21時に寝て3時半に起きるような生活を続けていました。遅刻が多い人はぜひ参考にしてみてください。

最後に受験は団体戦です。先生方や友達をサポートがあって合格できたと思っています。特に僕の場合は両親が家事などの一切を行ってくれたので、勉強に集中する事ができました。こればかりは、周りの人達には感謝しかありません。必ずしもこのような恵まれた環境で皆が受験に挑めるわけではないと思いますが、自分に合った方法を探して、周りの人の力を借りながら頑張ってください。